気づきの向こう側

令和元年　７月１８日（木）
自問清掃通信　　第３号

自問タイムを終えて

継掃会で他学年と清掃を通じて交流し、新たな知恵や様々な心に触れました。そして、自分なりの「弥北の心」に気づき、ふりかえりカードに書きました。先週の第一回自問タイムで、友達が書いたふりかえりカードを回し読みしました。自問清掃は「気づきの清掃」です。普段、友達のふりかえりをしっかり読むという機会はほとんどありません。しかし、友達のふりかえりカードを読むことで、「友達がどう思っているのか」、「どう感じながら清掃に取り組んでいるのか」を知ることができます。みなさんは友達のふりかえりカードを読んで何を思いましたか？

「自問タイムを終えて」

- みんな違うことが書いてあってとても面白いなと思った。共感できる所もたくさんあった。特に「多くのごみがあると楽しくなる心」は、印象的だった。私もゴミがたくさんあるとたくさんゴミが取れるから楽しいと思うからいいと思いました。

- 人によって見えている景色が違うことに気づきました。そしてその違いは、清掃場所ではなく、日々の清掃への向き合い方の違いだと思います。人は甘い楽な道へ流されていくものだと思います。ですが、そこで自分を問いただし、自問をすることで、より三つの玉を磨き成長できると思います。これからは、特に「自問」をテーマにして毎日の清掃を成長の場にしたいです。

- 人それぞれ感じたこと、考えたことを書いていましたが、私は「挑戦する心」というのに興味を持ちました。毎回私は、同じところばかりやってしまいがちです。でも挑戦すれば新たな発見ができます。今回の継掃会を振り返ってみると、一緒に清掃した１年生は毎日、様々なところを清掃していました。新しい発見をするために、もっと周りを見て挑戦しようと思います。

今日は大掃除。１学期の自問清掃の集大成となるように、各自気持ちを新たにして、自問清掃に励んでください。そして、清掃を通して自分自身を、弥北の心を成長させていきましょう。

（文責：渡邉　博彦）